



# 進路通信【だるま】

進路指導キャリア教育部

2022年度 第2号

## はじめに

今年度4回目の定期考査が終了しました。皆さん考査の結果はどうだったでしょうか。早いもので、師走となりました。3年次生は実質登校する日は2か月ほどです。来年4月からの新生活のために、最後まで規則正しい学校生活を送ってください。2年次生は早く自分の進路の方向性を決めましょう。あつと言う間に進路選択の時期がやってきますよ。1年次生は、学校に慣れて高校生活のペースはつかめてきていると思います。残りの高校生活の計画をきちんと立て、自分の進路を考えてください。「つらい道を避けないこと。自分の目指す場所にたどりつくためには進まなければ。」by キャサリン・アン・ポーター 皆さん、自分の進路について積極的に真剣に取り組んで、自分の人生を突き進んでください。



## 受験について

今年度の3年次生の進路決定状況ですが、現在の就職状況は、一般企業希望者は全勝中です。公務員希望者の受験結果は、刑務官・自衛官・警察官等合格者が出ています。事前準備をきちんと行ったからであり、1・2年次生の希望となる良い結果だと思います。上級学校の総合型選抜・学校推薦の受験は、おおかた終了したのではないのでしょうか。総合型選抜で受験した人は、結果も出ていることでしょうか。自分の希望する学校に合格することができた人、残念ながら1回目の受験では良い結果が得られなかった人、現在受験結果待ちの人など様々だと思います。まだ進路決定できていない人、1月からは共通テストや各学校の一般受験が始まります。これから体調を崩しやすい季節となります。受験勉強を今のまま継続し、万全な体調で受験することが、合格を勝ち取るために大切なことです。「適度に運動をして体力をつける」「普段の食事に気を遣う」「睡眠時間を確保する」など、自分の体への気遣いも心掛けてください。まだ3年次生全員の進路が決まっているわけではありません。今後受験を控えている人もいます。あきらめず最後まで精一杯やり抜いてください。

## 長崎先生からアドバイス



及時當勉励 歲月不待人 (時に及んで、<sup>とき</sup>奮に勉励すべし 歲月人を待たず) と読みます。

これは、陶淵明の詩の最後部分です。若い時は、あつという間に過ぎてしまう。今、出来ることを懸命にやるべきだ、歳月は待っていてくれない。高校生の漢文の時間に、この詩を習いました。「勉励」とあるので、「勉強しろ」という意味と私は解釈して答えたのですが、そのような表面的な解釈ではなく、深い意味が込められていることを、先生から指摘され、しっかりと調べるように注意されました。酒盛りをしたり(ただし、20歳未満は飲酒厳禁)、遊んだり、面白く楽しいと感じたことを思いきりする意味合いが込められています。授業で習ったことを、さらに考えて調べてみることも、楽しいことです。

看護・医療分野担当者としては、「勉励」の浅い意味ですが、1年次、2年次での勉強を大切にして、基礎力を十分につけることを願っています。看護師をはじめ、医療分野の大学・専門学校は、高校での基礎力がある

ものとして授業や実習が進められます。国家試験は、専門学校・大学の卒業が条件で受験資格が得られます。入学後の大学。専門学校での勉強が重要です。その授業に耐えられるように、今、高校での勉強を大切にしてください。



## 各年次生へ

### 3年次生へ

多くの人が、進路が決まり少し気が抜けているのではないのでしょうか? 来年4月からは新生活が始まります。今までの生活とは大きく異なります。楽しいことやワクワクすることもあると思いますが、ストレスのかかることもあるはずです。来年4月に突然、自分のやる気スイッチを入れてしっかりやっつけていこうなど、なかなかできることではありません。今から少しずつでいいので新生活に向けて正しい生活リズムとなるよう、自分の生活を整えていってください。

### 2年次生へ

来年度に向けて、自分の目標となる道を見つけてください。見つけることができた人は、情報収集を行って、自分にとってより良い進路選択を作り、進むべき方向をどうするか選択肢を絞っていってください。「来年だからまだいいや」なんて思っていたら、あつという間に時は過ぎていきますよ!

### 1年次生へ

進学するかどうかわからない人も含めて、休日等を利用して興味のある上級学校に足を運び、自ら目で見ると雰囲気を感じてください。知らない世界を見ることで、新しい発見によつての自分の価値観に良い影響があるのではないのでしょうか。また、最近学校になれたことによる心のゆらみがあるはずです。毎日の授業をきちんと受け、規則正しい学校生活を送ってください。



## ようこそ町総へ

9月より国語科の本間巧人先生が本校に着任されました。

初めまして、本間です。私は大学を卒業したばかりですので、私の後悔や失敗を交えて卒業後のアドバイスを送ろうと思います。まず一つは、「とりあえずやってみる」こと。私は、大学生になったら軽音楽部に入りたかったのですが、「自分が一番下手だったらどうしよう」「楽器のこともまだ詳しくないし」など考えてしまい、入ることができませんでした。後々、話を聞くと初心者もかなりいたようでした。今でも、寝る前に学生たちのライブ映像をみながら、自分がステージに立っているところを想像しながら眠ることがあります。「あのとき入部していたら」「もっと自信を持っていれば」と思うこともありますが、「もしもあのとき」なんて酔狂な世界は存在せず、この結果だけが現実です。勇気を出して恥ずかしい思いをしても、それは一瞬の出来事です。やらなかった後悔より、やった後悔を。やらなかった後悔は一生ついて回りますよ! 皆さんは私と同じ轍を踏まないように、何事にも挑戦してみてください!

## これからの進路・キャリア行事等について

- 12月16日(金) 5・6限目 【1・2年次 進路ガイダンス】
- 12月17日(土) 第8回東京都高等学校総合学科教育研究会 (都立世田谷総合高等学校)
- 12月22日(木) 3年次研究発表会
- 1月11日(水) 模擬試験<1・2年次>
- 1月14・15日(土・日) 共通テスト試験
- 3月20日(月) 【1・2年次 進路ガイダンス】

